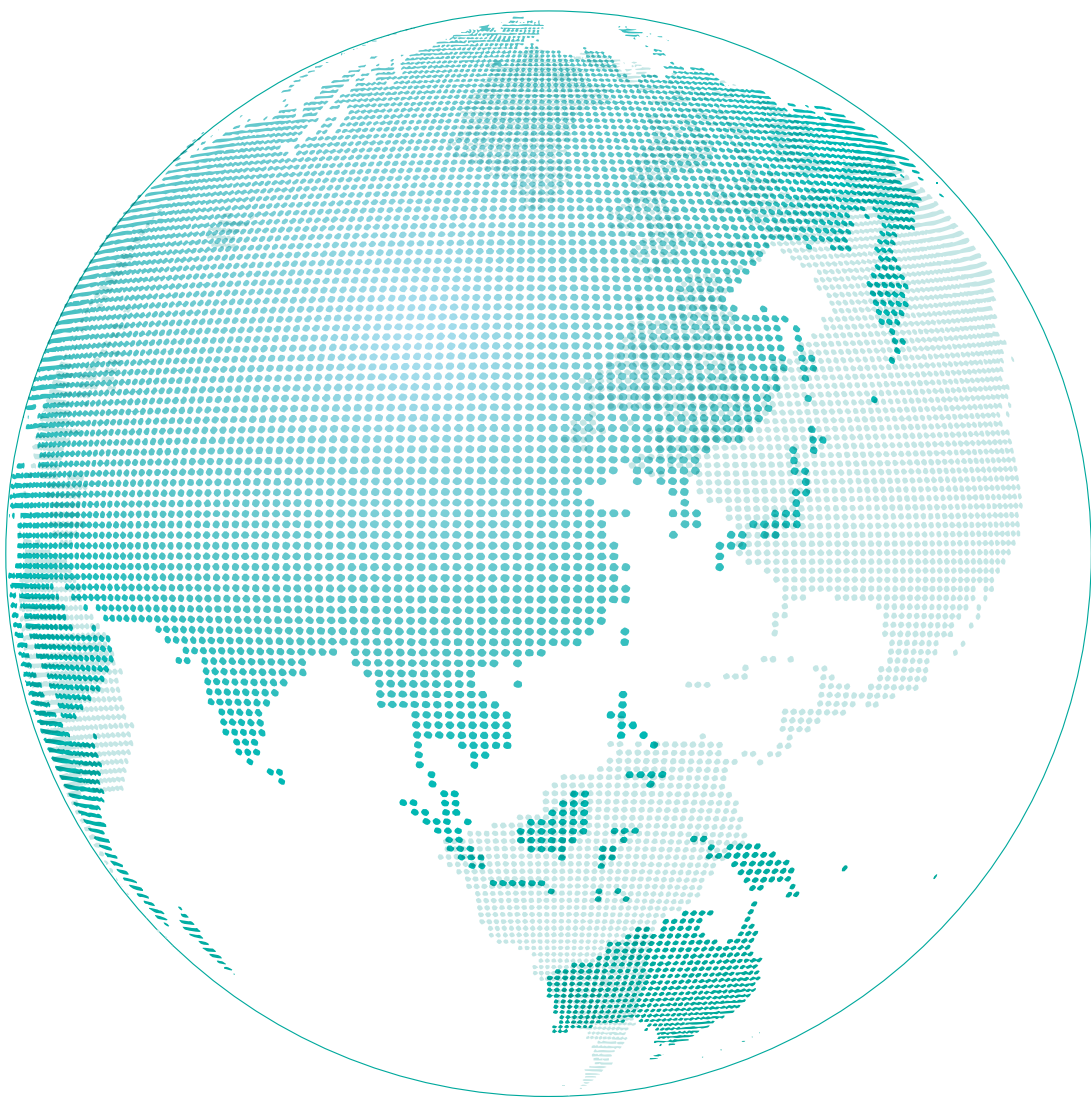


ダイジェスト版

高3生の英語学習に関する調査

〈 2015-2021 継続調査 〉



調査概要

本調査は、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所の共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクトの一環として行った、「高校生活と進路に関する調査2021」の調査項目の一部として実施しました。

◆ 調査テーマ

高校生の英語学習に関する意識と実態

◆ 調査方法

郵送による自記式質問紙調査

◆ 調査時期

2021年3～4月

◆ 調査対象

全国の高校3年生991名（有効回収率68.4%）

*本調査の回答者の一部は、小学6年生のときに「小学生の英語学習に関する調査」（2015年3月実施）、中学1年生のときに「中1生の英語学習に関する調査」（2016年3～4月実施）、中学3年生のときに「中3生の英語学習に関する調査」（2018年3～4月実施）、高校1年生のときに「高1生の英語学習に関する調査」（2019年3～4月実施）にも回答している。

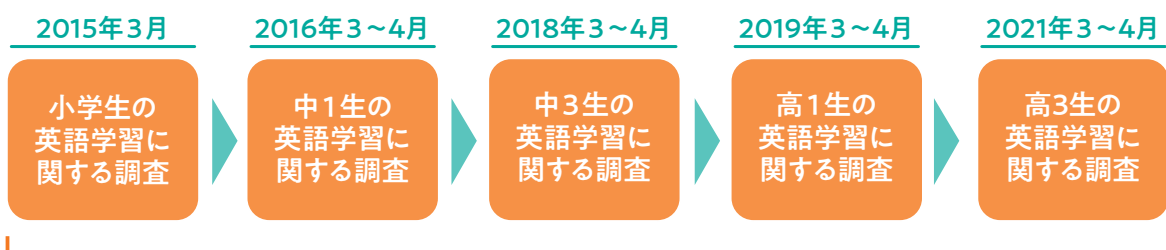
*「小6→中1→中3→高1→高3」とすべての調査に回答した有効回収数は322名。

*東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクトの調査モニター。

◆ 調査項目

*授業時数／英語の授業でしていたこと／英語の好き嫌い／英語の得意苦手／英語や外国に関わる経験／英語や英語学習に関すること／英語ができればいいこと

調査の枠組み

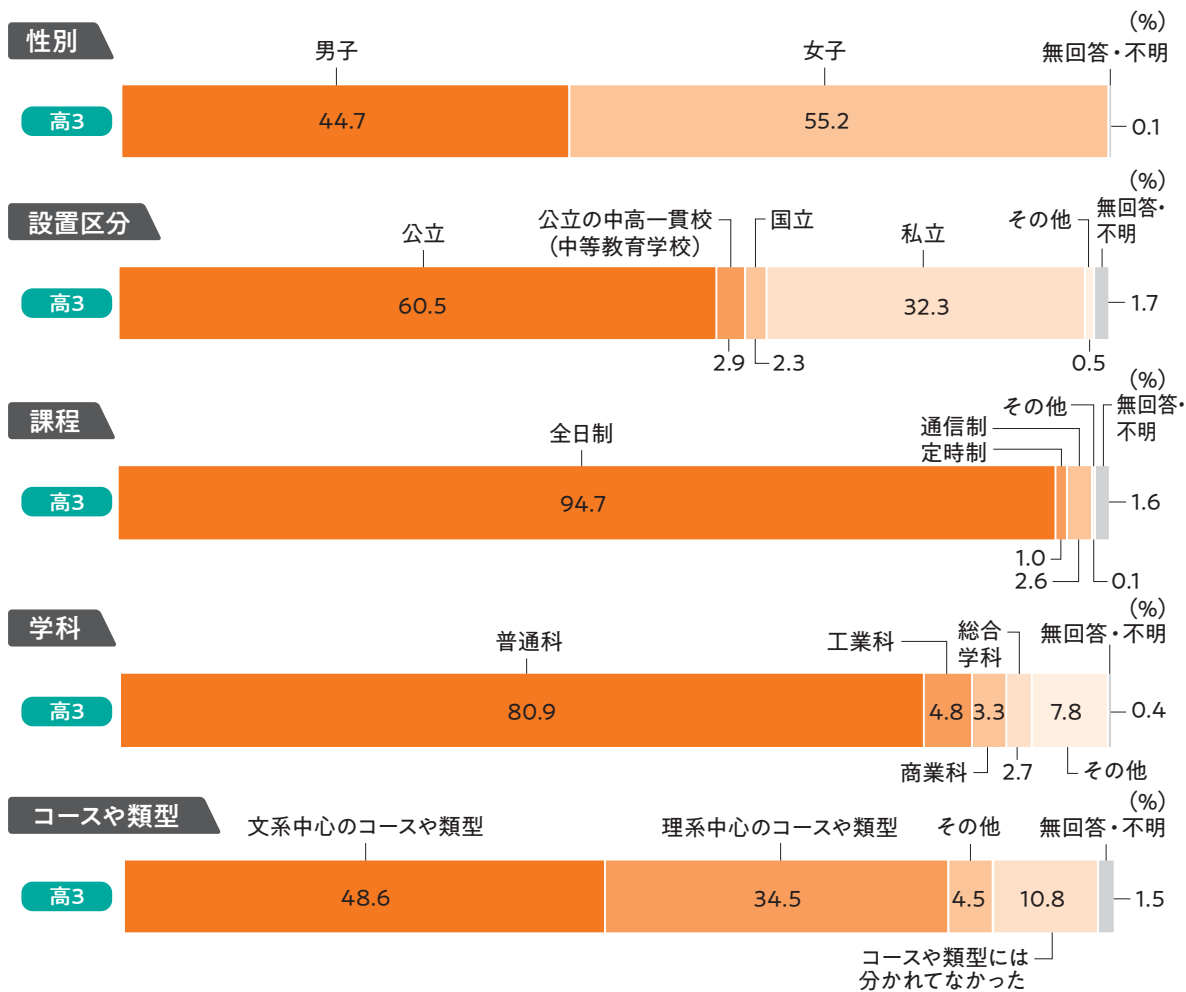


2015-2021継続調査

〈過去の調査〉

調査名	調査時期	調査対象	調査方法
小学生の英語学習に関する調査	2015年3月	全国の小学5年生、6年生とその保護者1,565組	郵送による自記式質問紙調査
中1生の英語学習に関する調査	2016年3～4月	全国の中学1年生1,170名	郵送による自記式質問紙調査
中3生の英語学習に関する調査	2018年3～4月	全国の中学3年生1,003名とその保護者1,009名	郵送による自記式質問紙調査
高1生の英語学習に関する調査	2019年3～4月	全国の高校1年生971名	郵送による自記式質問紙調査

基本属性



*【設置区分】【課程】については、「子どもの生活と学び」研究プロジェクト「子どもの生活と学びに関する親子調査2020」の回答(837名)。

CONTENTS

調査概要・調査の枠組み	2	4-3 意欲・動機づけ・言語観③	11
基本属性	3	5-1 英語や外国に関わる経験のうち	
1 授業時数	4	もっとも印象に残っている経験①	12
2-1 英語の授業でしていたこと①	5	5-2 英語や外国に関わる経験のうち	
2-2 英語の授業でしていたこと②	6	もっとも印象に残っている経験②	13
3-1 英語の授業の好き嫌いど英語の得意苦手①	7	6-1 英語ができればやってみたくこと (自由記述) ①	14
3-2 英語の授業の好き嫌いど英語の得意苦手②	8	6-2 英語ができればやってみたくこと (自由記述) ②	15
4-1 意欲・動機づけ・言語観①	9		
4-2 意欲・動機づけ・言語観②	10		

1 授業時数

✓ 高3生の約4割が、英語の授業を週に「6時間以上」受けていたと回答

週あたりの英語の授業について、高3生の約4割が週に「6時間以上」、2割弱が「5時間」と回答している。一方で、約1割は「0時間」～「2時間」（「0時間」1.8%、「1時間」1.5%、「2時間」5.5%）と回答している。学年別にみると、高3時の方が高1時よりも「6時間以上」という回答が10.5ポイント高い。

Q 高校3年生の時の英語の授業についてお聞きます。
英語の授業は週に何時間ありましたか。

図1-1 授業時数

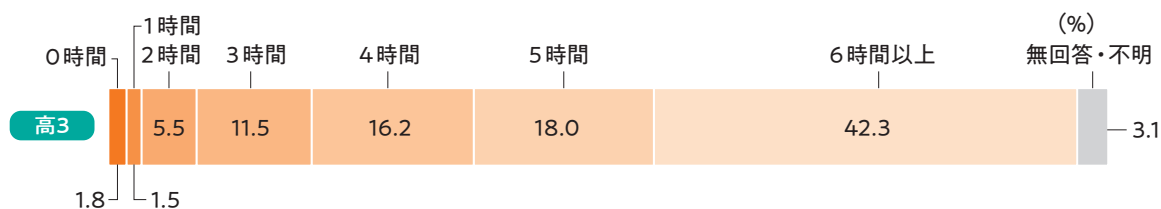
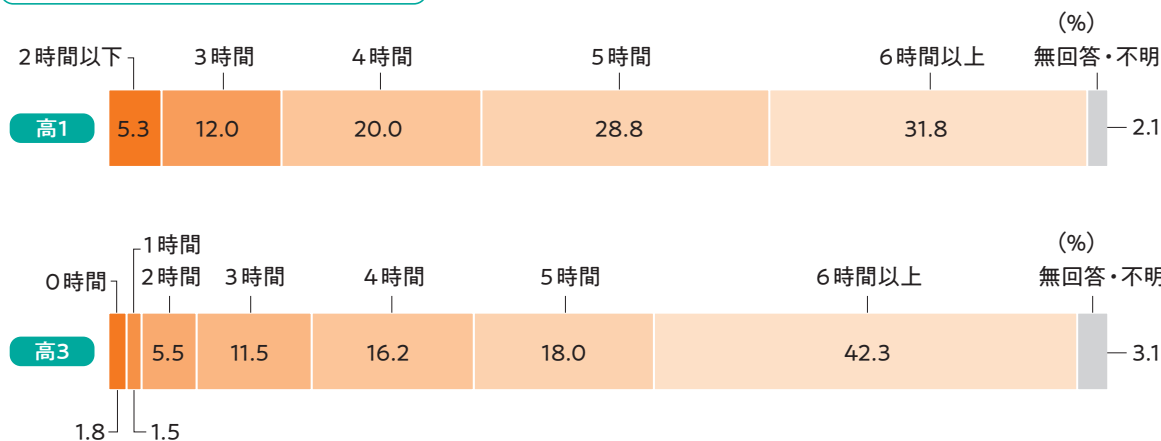


図1-2 授業時数(高1・高3)



* 「高1」は「高1生の英語学習に関する調査」(n=971)の数値。

2-1 英語の授業でしていたこと①

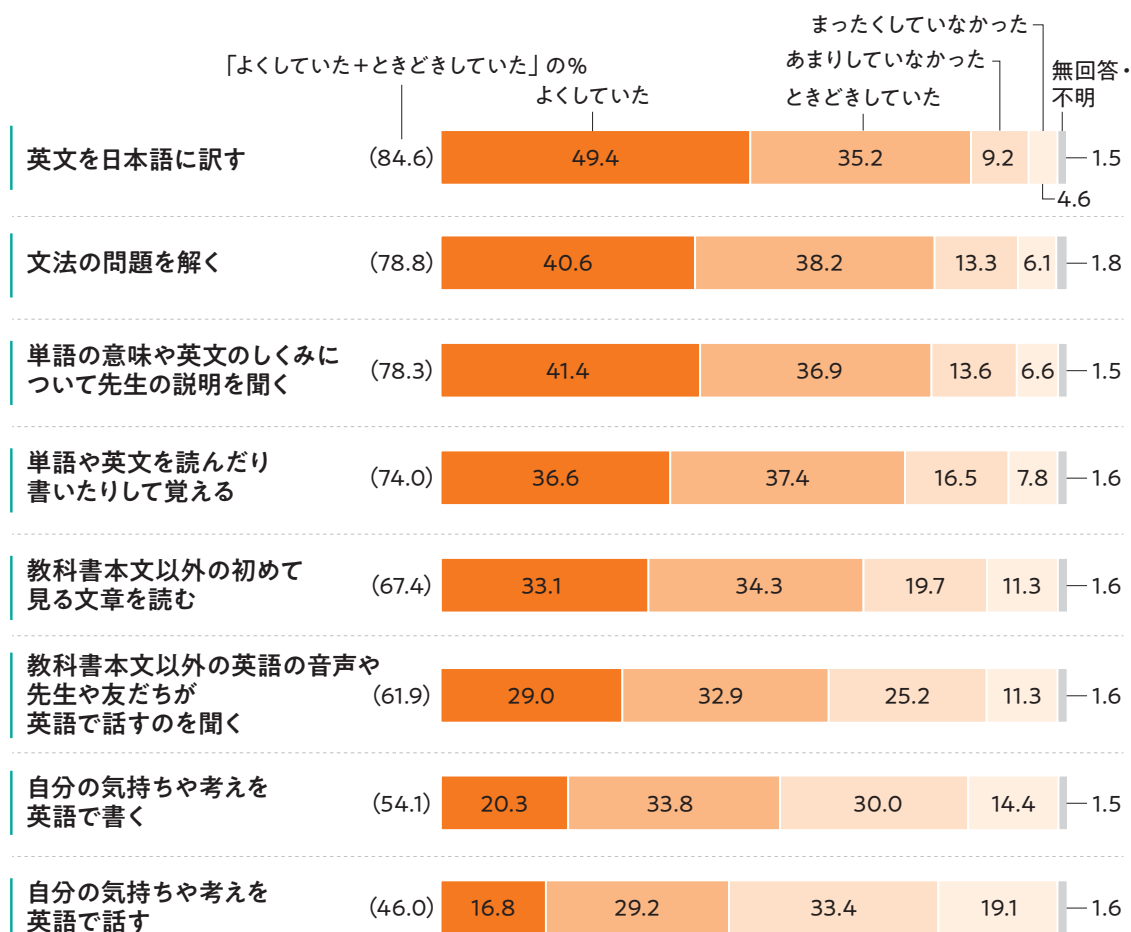
☑ 高3生が英語の授業でしていた英語を使う活動は、多い順に「読む」>「聞く」>「書く」>「話す」

英語の授業でしていたことをたずねたところ、「英文を日本語に訳す」は8割強が、「文法の問題を解く」「単語の意味や英文のしくみについて先生の説明を聞く」「単語や英文を読んだり書いたりして覚える」については、それぞれ7割台が「していた（よく+ときどき、以下同）」と回答している。また、「教科書本文以外の初めて見る文章を読む」「教科書本文以外の英語の音声や先生や友だちが英語で話すのを聞く」は6割台だったが、「自分の気持ちや考えを英語で書く」は5割台、「自分の気持ちや考えを英語で話す」は4割台が「していた」と回答している。

Q 高校3年生の時の英語の授業の中で、次のようなことをどれくらいしていましたか。

図2-1 授業でしていたこと

(%)



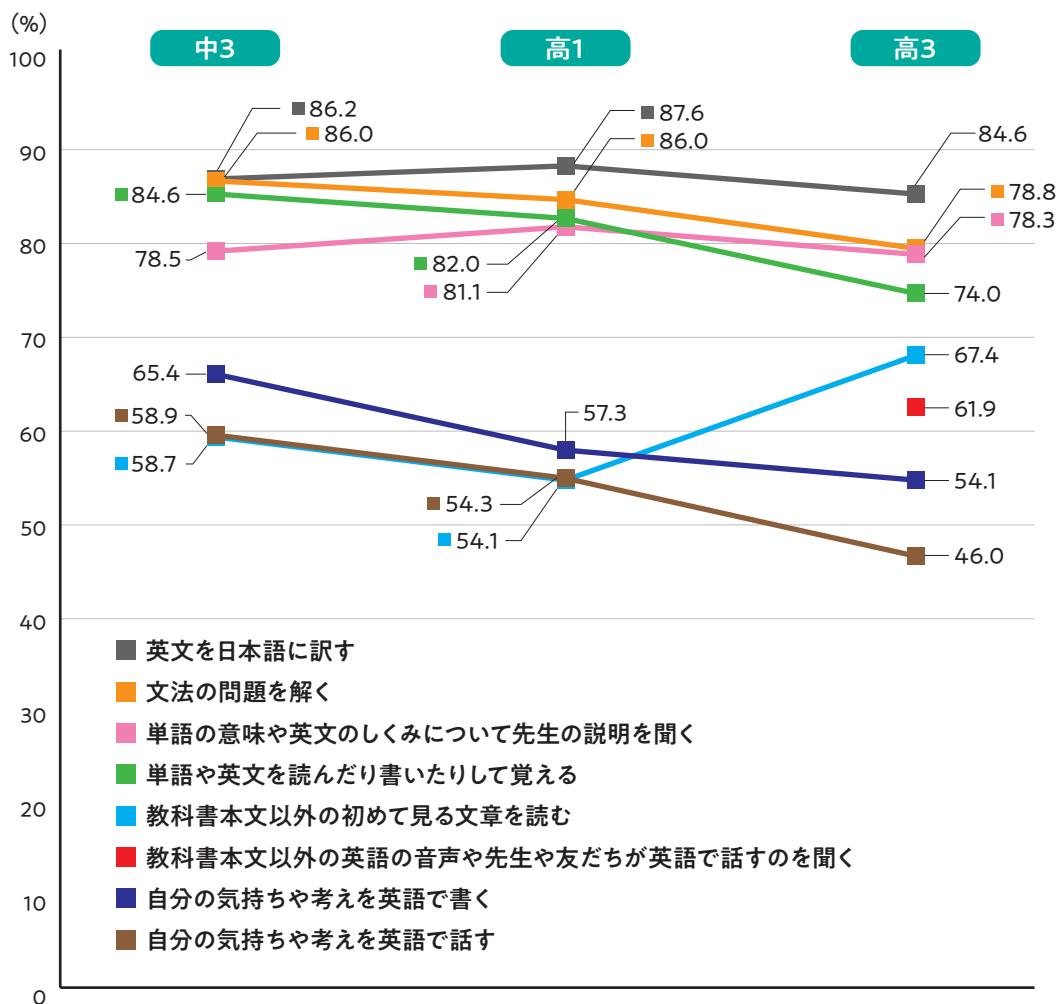
2-2 英語の授業でしていたこと②

☑ 英語の授業で「書く」「話す」活動は、学年が上がるにつれて減少

英語の授業でしていることについて中3→高1→高3の継続的な変化をみると、「訳す・問題を解く・説明を聞く・覚える」はどの学年でも7～8割台と多く行われている。一方で、「自分の気持ちや考えを英語で書く・話す」は、学年が上がるにつれて減少傾向がみられる。また、「教科書本文以外の初めて見る文章を読む」は、中3から高1でわずかに減少するが、高1から高3では10ポイント以上増加する。

Q 高校3年生の時の英語の授業の中で、次のようなことをどれくらいしていましたか。

図2-2 授業でしていたこと（中3・高1・高3）



*「中3」は「中3生の英語学習に関する調査」(n=1,003)、「高1」は「高1生の英語学習に関する調査」(n=971)の数値。

*中3調査、高1調査は「よくしている+ときどきしている」の%。高3調査は「よくしていた+ときどきしていた」の%。

*「教科書本文以外の英語の音声や先生や友だちが英語で話すのを聞く」は、「高3生の英語学習に関する調査」のみで聞いた項目。

3-1 英語の授業の好き嫌いとは英語の得意苦手①

✓ 高校卒業時点で、英語の授業が「好き」は5割強、英語が「得意」は4割

英語の授業の好き嫌いについて、これまでの継続調査（小6→中1→中3→高1）の結果とあわせて推移をみると、学年が上がるにつれて「好き（とても+まあ）、以下同」は減少し、高3では5割強だった。同じく、得意苦手についてみると、「得意（とても+やや）、以下同」も学年が上がるにつれて減少し、高1からは「苦手（やや+とても）、以下同」が「得意」を上回り、高3では「得意」が4割、「苦手」が6割弱となる。



学校の英語の授業についてお聞きます。

1) 英語は好きですか。2) あなたは、英語が得意ですか、苦手ですか。

図3-1 英語の授業の好き嫌い（小6・中1・中3・高1・高3）

(%)

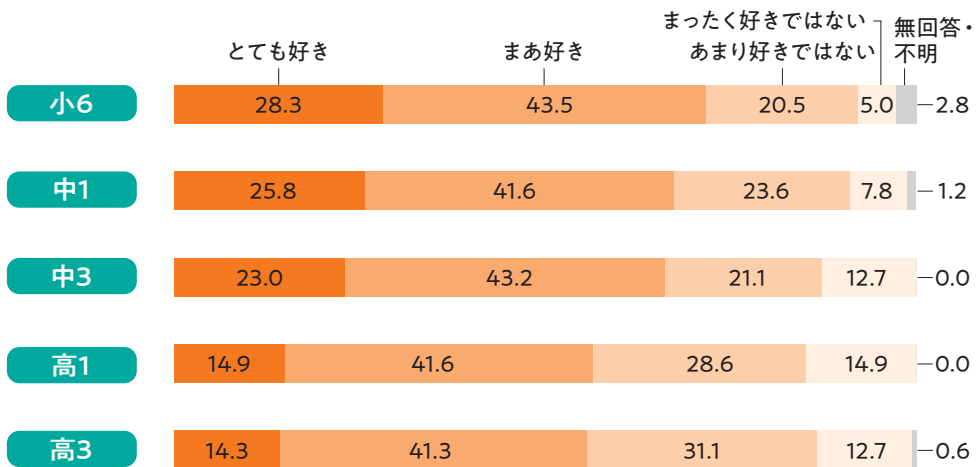
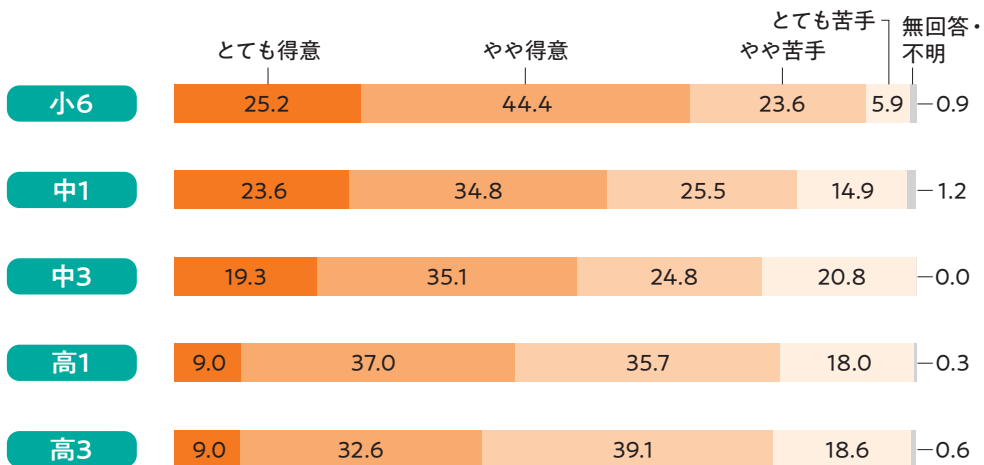


図3-2 英語の得意苦手（小6・中1・中3・高1・高3）

(%)



* 「小6→中1→中3→高1→高3」とすべての調査に回答した322名から算出。

3-2 英語の授業の好き嫌いとう英語の得意苦手②

☑ 学年が上がるほど、「好き／得意」が減少し、「嫌い／苦手」が増加

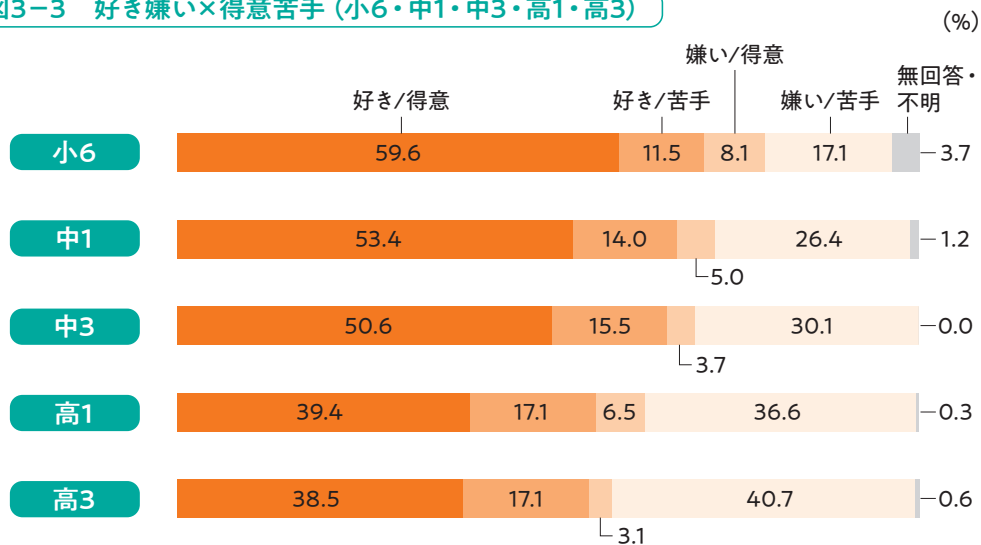
英語の授業の好き嫌いとう得意苦手をもとに、英語に対する認識を4タイプに分類し、これまでの継続調査（小6→中1→中3→高1）の結果とあわせて推移をみると、小6では約6割が「好き／得意」と回答しているが、学年が上がるにつれて減少していく。一方で、「嫌い／苦手」がだんだんと増加し、高3では4割となる。また、「好き／苦手」という意識を持つ生徒も、各学年で1割台あり、学年が上がるにつれて増加傾向である。



学校の英語の授業についてお聞きします。

1) 英語は好きですか。2) あなたは、英語が得意ですか、苦手ですか。

図3-3 好き嫌い×得意苦手（小6・中1・中3・高1・高3）



*各時点の調査において、「好き（とても+まあ）」「好きではない（あまり+まったく）」、「得意（とても+やや）」「苦手（やや+とても）」をもとに、英語に対する認識を4タイプに分類。なお、ここではわかりやすさを考慮して、「好きではない」を「嫌い」と表記している。

*小6調査では、「外国語（英語）活動」について聞いた。

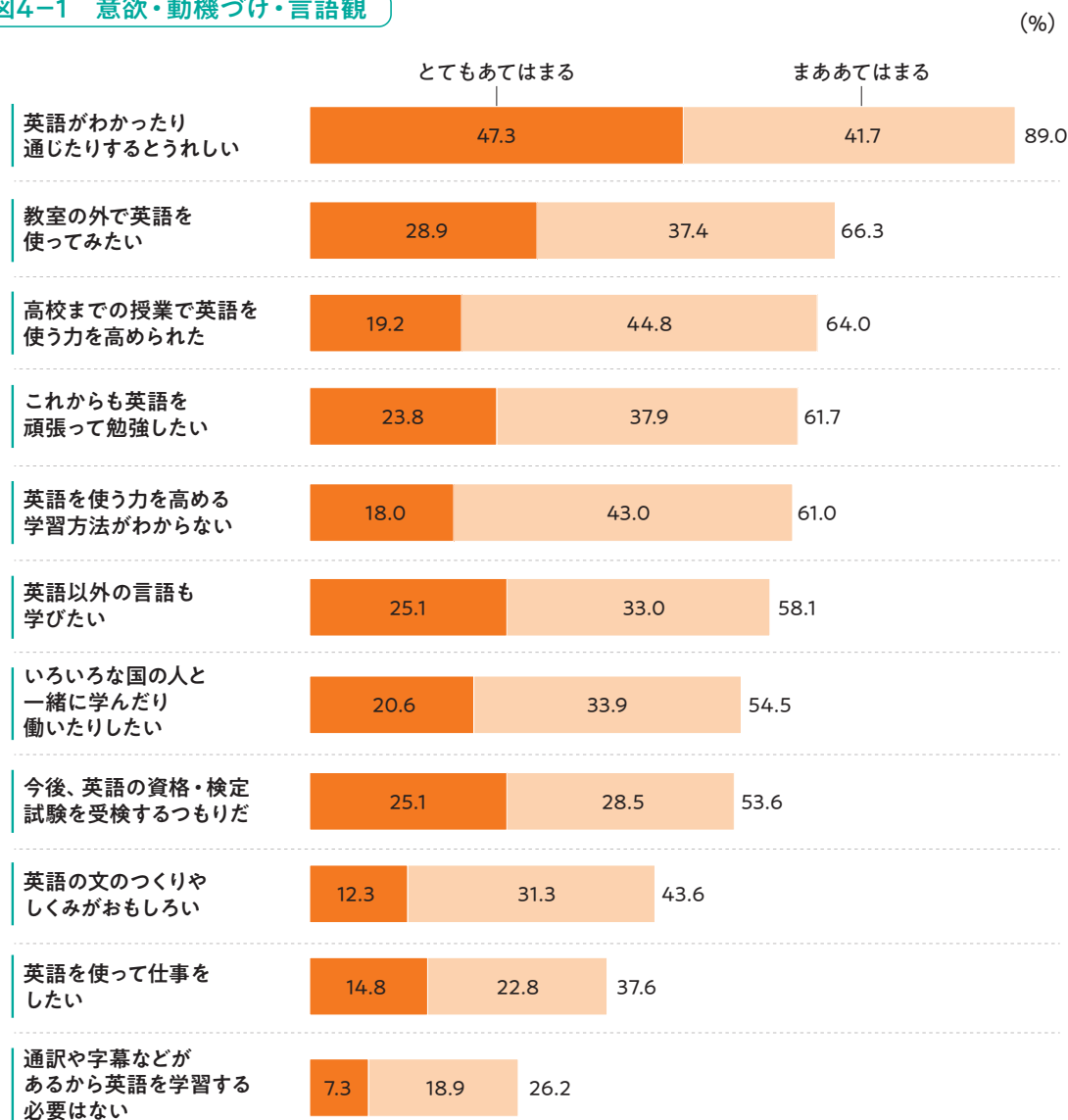
4-1 意欲・動機づけ・言語観①

☑ 高校卒業時点で、6割が「これからも英語を頑張って勉強したい」と回答

英語や英語学習に関することについてたずねたところ、高3生の約9割が「英語がわかったり通じたりするとうれしい」、6割強が「教室の外で英語を使ってみたい」という項目について「あてはまる（とても+まあ）」と回答した。また、「高校までの授業で英語を使う力を高められた」「これからも英語を頑張って勉強したい」という項目について「そう思う（とても+まあ）」と回答した高3生が約6割いる一方で、「英語を使う力を高める学習方法がわからない」と回答した高3生も約6割いた。

Q 英語や英語学習に関することについて教えてください。

図4-1 意欲・動機づけ・言語観



* 「英語がわかったり通じたりするとうれしい」「教室の外で英語を使ってみたい」の項目は「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。それ以外の項目は、「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。

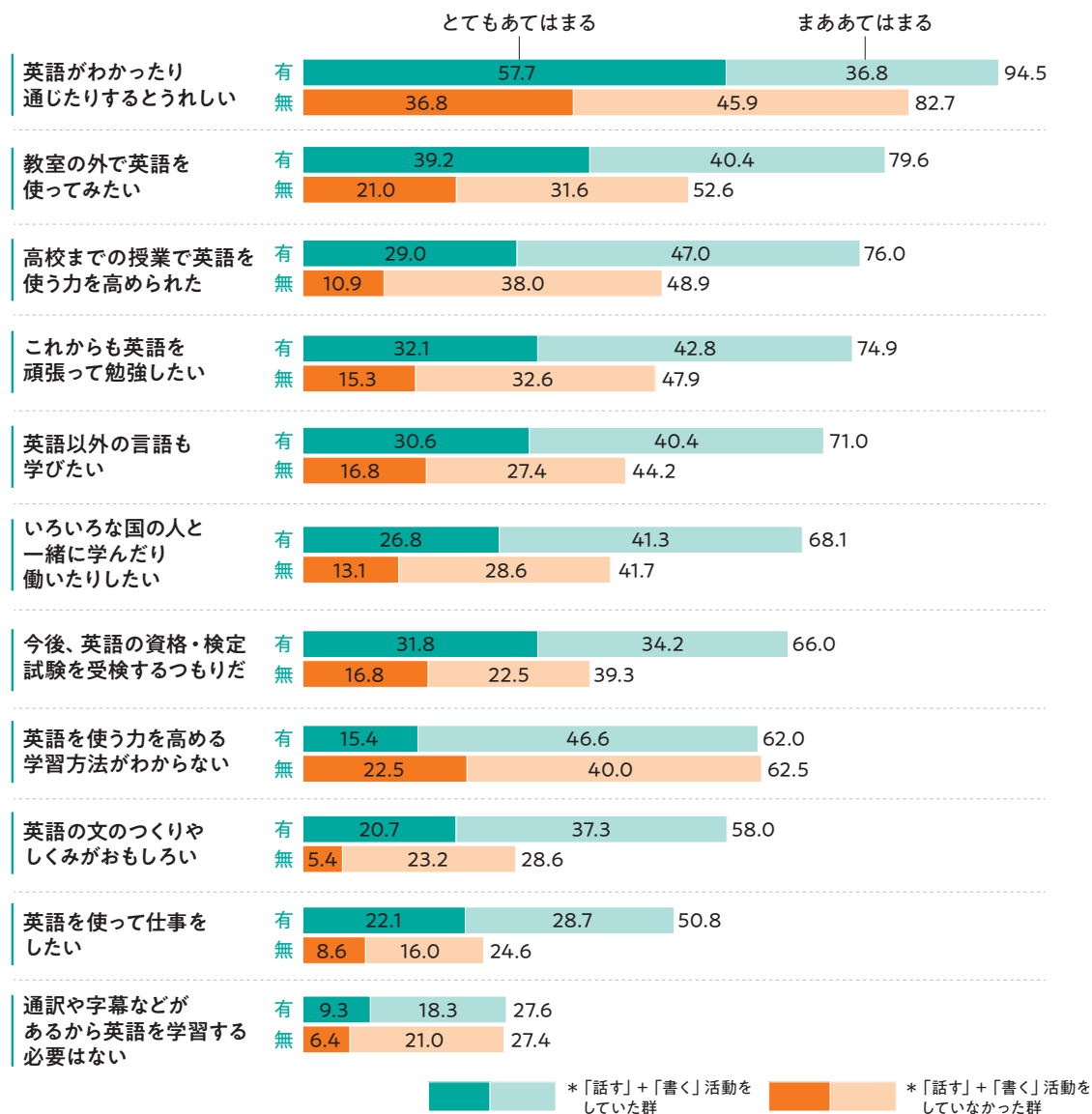
4-2 意欲・動機づけ・言語観②

☑ 授業での「話す」+「書く」活動の有無で、英語学習意欲や英語を使う意欲に差

高3時の、英語や英語学習に関することについて「話す」+「書く」活動の有無別にみた。授業で英語を「話す」+「書く」活動をしていた群は、していなかった群よりもほとんどの項目で肯定的な回答の数値が高く、もっとも差が大きかったのは「英語の文のつくりやしきがおもしろい」という項目で29.4ポイントの差があった。一方で、「英語を使う力を高める学習方法がわからない」「通訳や字幕などがあるから英語を学習する必要はない」という項目については、「話す」+「書く」活動の有無で差はみられなかった。

Q 英語や英語学習に関することについて教えてください。

図4-2 意欲・動機づけ・言語観（「話す」+「書く」活動の有無別）



*「英語がわかったり通じたりするとうれしい」「教室の外で英語を使ってみたい」の項目は「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。
それ以外の項目は、「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。
*授業で「話す」「書く」活動についてどちらも「していた（よく+ときどき）」と回答した群（421名）を「話す」+「書く」活動をしていた群、
どちらも「していなかった（あまり+まったく）」と回答した（405名）群を「話す」+「書く」活動をしていなかった群としている。

4-3 意欲・動機づけ・言語観③

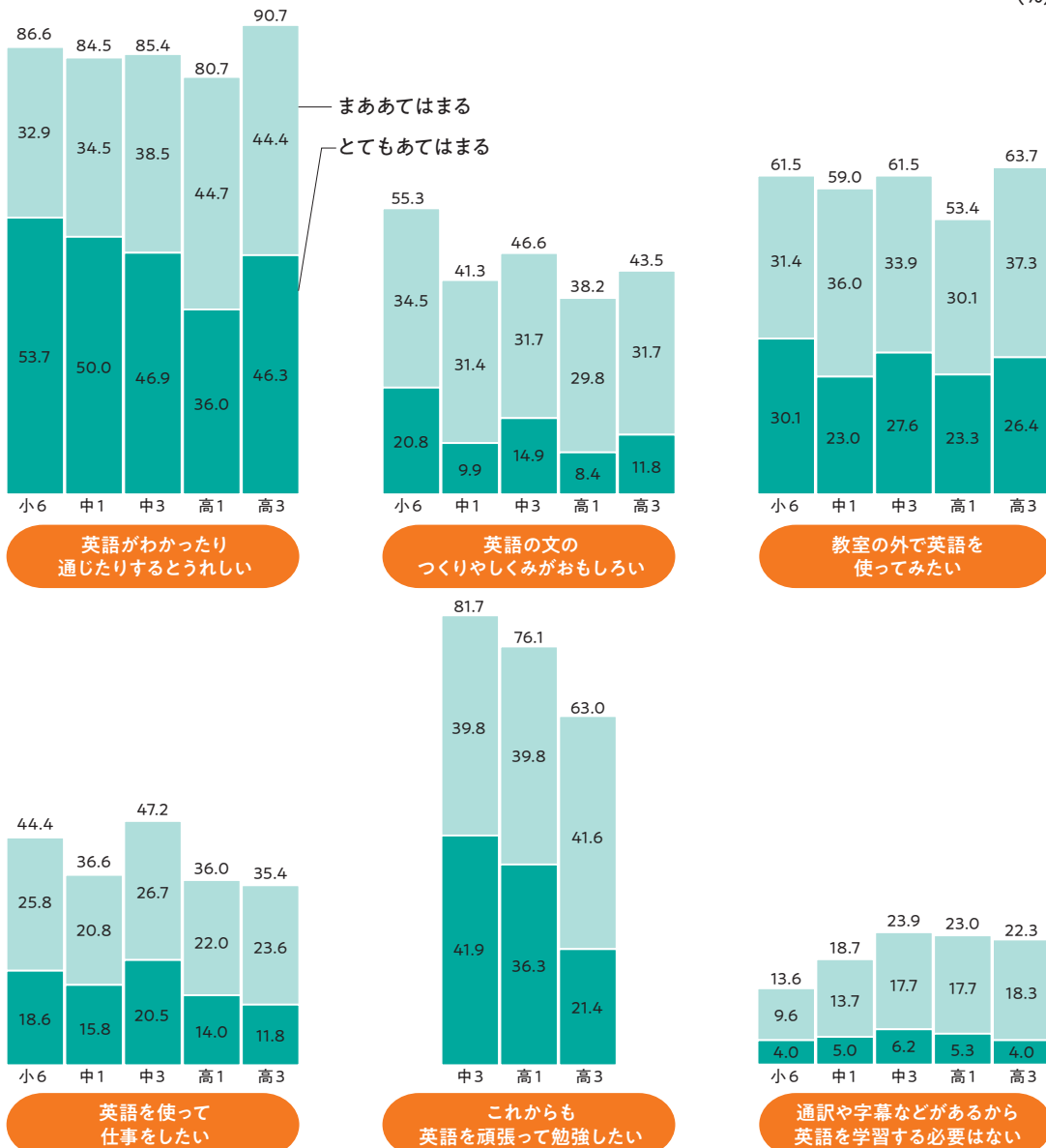
☑ 「英語がわかったり通じたりするとうれしい」気持ちは小6から高3まで変わらず高い

英語や英語学習に関する意識について、これまでの継続調査（小6→中1→中3→高1）の結果とあわせて推移をみた。「英語がわかったり通じたりするとうれしい」は、小6から高3まで学年が上がっていても8割以上と高い数値をキープしている。一方、「これからも英語を頑張って勉強したい」という項目は、中3では81.7%、高1では76.1%、高3では63.0%と、学年が上がるにつれて8割台から6割台へと減少している。

Q 英語や英語学習に関することについて教えてください。

図4-3 意欲・動機づけ・言語観（小6・中1・中3・高1・高3）

(%)



* [小6→中1→中3→高1→高3]とすべての調査に回答した322名から算出。
 * 「英語がわかったり通じたりするとうれしい」「教室の外で英語を使ってみたい」は「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%。それ以外の項目は、「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。
 * 「英語や英語学習に関すること」を聞いた11項目のうち、継続項目である6項目のみ表示している。
 * 「これからも英語を頑張って勉強したい」は、小6、中1のときにはたずねていない。

5-1 英語や外国に関わる経験のうちもっとも印象に残っている経験①

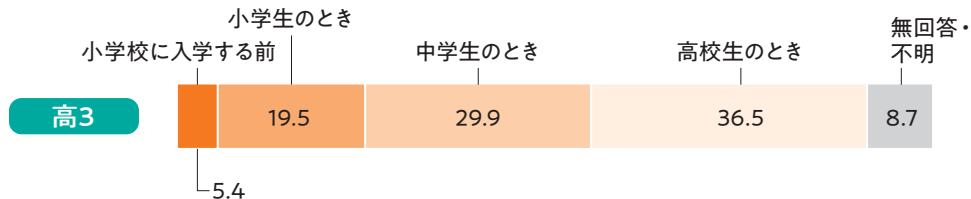
Q

これまで（幼い時から高校卒業まで）の英語や外国に関わる経験のうち、あなたにとって**もっとも印象に残っている経験**（楽しかったこと、うれしかったこと、悔しかったこと、困ったことなど）について教えてください。（学校の授業の中でも、それ以外のことでも結構です。）

1) その経験は、いつのことですか。

図5 もっとも印象に残っている経験の時期

(%)



Q

2) それはどこ（学校の授業、行事、習い事、旅行、趣味、ホームステイなど）でのどんな経験ですか。具体的に教えてください。

【もっとも印象に残っている経験】（時期別）

もっとも印象に残っている経験の具体的な自由記述回答の中から、特徴的なものを時期別にご紹介します。

*基本的に原文のまま掲載しています。

小学校に入学する前の経験

- ・保育園で英語の授業があり、リトミックなど、とても楽しい思い出があります。
- ・習い事で英語でハロウィンのパーティをした時に楽しかった思い出があります。
- ・単語を覚えて言えたこと
- ・保育園で色や形を教えてもらったとき
- ・英会話のアメリカ人の先生と仲良くハロウィンパーティーをして、楽しかった。
- ・幼い時歌っていたのが楽しかった
- ・幼稚園で初めて英語の歌を振付けつきで教わった時とても楽しい時間だった。

小学生のときの経験

- ・授業が楽しかった。
- ・外国人の先生が、授業以外でもたくさん英語で話しかけてくれたこと。
- ・普段は苦勞なく発音できるのに、いざ発表となると緊張してうまく発音できず困った。
- ・学校でALTの先生と一緒に給食を食べているとき、自分の知っている英語でつたない文章だったがしっかり聞き取ってもらえて自分の言いたいことが伝わったのがとてもうれしかった。
- ・ALTの先生の授業が面白く、英語を話せるようになりたいと思い英会話教室へ通い始めた。
- ・習い事で外国人の先生としゃべった時に全然会話ができなかったこと。
- ・授業で初めて本物の英語をきいた。ALTの先生と話した。楽しくゲームをした。
- ・帰国子女の友人が外国人と英語で話しているのを見た時
- ・鳥の鳴き声を英語で言えたこと。
- ・小学生のときの英語の授業で、英語で桃太郎の劇をしたことがとても楽しかった
- ・初めて英検を受験して合格した。

5-2 英語や外国に関わる経験のうちもっとも印象に残っている経験②

中学生のときの経験

- ・英語の先生がとてもおもしろい先生だったので、その人のおかげで英語が好きになりました
- ・中学校でALTの先生に、自分のEnglishが積極的であることをほめられた経験
- ・発音を英語の先生とネイティブスピーカーにほめられた。修学旅行先の外国人と話せた。
- ・アルファベットが26文字しかないと思ったとき。
- ・中学1年生の時、通学路で外国人に道を聞かれるも、あたふたして何もできなかったが、3年生になった時、駅で困っている外国人に切符の買い方を教えてあげることが出来、とても嬉しかった経験。
- ・フィリピンへ1週間語学留学。とにかく人と英語で話すのが怖く、自分の自信のなさを実感。
- ・授業のスピーチテストでALTの先生に発音が良いとほめてもらったとき。
- ・修学旅行でオーストラリアに行ったとき、自分の英語が通じて感動した。
- ・本当の自分の意見を言えたとき。
- ・英語教室でとても素敵な先生に会えました
- ・外国のチアリーダー選手と一緒に練習したとき
- ・転校生が日本語が話せず、英語を日常的に話していたため、自分が話せたらもっと簡単に意思疎通ができるのになあと感じた。
- ・英語がよく分からず、テストで半分くらいしかとれなかったこと。
- ・塾の先生からわかりやすく英語を教えてもらったこと。
- ・ホームステイ先の家で、いろいろな国の留学生と英語で会話し、仲良くなれたこと

高校生のときの経験

- ・英語の先生のアメリカに住んでいた時の話
- ・洋楽を歌っていたらリスニングの調子が良くなって驚きました。
- ・修学旅行でイギリス・ロンドンに行った時、ホームステイ先の方に英語で伝えた時、発音の違いで全く伝わらず、びっくりしたこと。発音の大切さを改めて感じた。
- ・英語の授業で、貧困問題をかかえている国の人々が、栄養失調や病気でくるしんでいる姿を映像で見て、自分がその人々に対して、何もできない無力さを感じ、くやし涙をながしたこと。私は将来、そのような人々のために、やくにたちたいと思った。
- ・イギリスの海外研修で、現地の小学校へ行き、日本の遊びを教えた経験。
- ・学校の授業でALTの先生と英語で色々お話しできたのが楽しかったです。
- ・学校の授業でディベートをした事。
- ・駅で困っている外国人を見て友達と一緒にカタコトな英語で助けた時。
- ・授業で発表した時、クラスの友人たちに受けたこと
- ・旅行。小学生のころに行ったときはThank you. You are welcome. しか言えなかったけれど、高校生になって行ってみたら自分の気持ちを伝えられるようになって嬉しかった。
- ・オーストラリアでホームステイをしたが、英語力が未熟で、ホストファミリーと深く話せなかった。
- ・修学旅行でシンガポールに行き、日本人以外が話す英語を実際に生で聞いたときに、衝撃を受けた。
- ・授業でスティーブ・ジョブズのスピーチをきいたとき分かりやすく話すことは、どの言語でも大事なんだと思った。
- ・長文読解は難しかったけど自分なりの解釈もできて楽しかった。

6-1 英語ができたらやってみみたいこと (自由記述) ①

Q もし、英語ができたらどんなことをしたいですか。夢でも構わないので自由に書いてください。

本調査では、中1、中3、高1、高3、それぞれの時点の調査において、上記の質問をしている。継続調査のため、同じ生徒の回答の変化をみることができる。ここでは、本調査の回答者の中から6名の生徒について、「英語ができたらしたいこと」の他に、「もっとも印象に残っている経験」「英語の得意苦手」「なりたい職業」の回答もあわせて紹介する。

*「なりたい職業」は「子どもの生活と学びに関する親子調査」において、中1～高3まで継続して聞いた質問項目（「将来なりたい職業（やりたい仕事）」がありますか。あなたが一番なりたい職業（やりたい仕事）を、具体的に書いてください。」への自由記述回答。
*基本的に原文のまま掲載しています。

	Aさん	Bさん	Cさん
中1	ブロードウェイのミュージカルを見に行くこと。	実際に使いたい	将来の仕事で外国の人に買ってもらえる服を作り、販売する。
中3	海外の演劇を観劇したり、野球観戦をしてみたい。	英語を仕事のときに使いたい	助産師として、海外の病院の人手が足りない所へ行き、お産を助けてみたいです。
高1	洋画を字幕無しで見る！海外に演劇を見に行く。	英語の文章を読む。英語を使って話す。	助産師になることが夢なので、日本に旅行に来ている外国人の方が急に産をすとなっても、かっこよく対応したい。
高3	字幕なしで洋画を見たり動画を見たりしたい	あれば人生が豊かになるスキルです。	英語を使い医療の現場で働いたり、貧しい子供たちに看護を提供してあげたい。
	【経験】<中学生のとき>学校の授業で先生が色々工夫をして、ゲーム感覚で授業をすすめてくださったとき。	【経験】<高校生のとき>外国に住む友人と日本で会ったときに、話を理解できなかったこと。	【経験】<高校生のとき>高校2年生の実力テストで、英語で学年1位をとったこと。
	小6やや得意→中1とても得意→中3やや得意→高1やや得意→高3やや苦手	小6とても得意→中1やや得意→中3とても得意→高1やや苦手→高3やや苦手	小6とても得意→中1やや得意→中3やや得意→高1やや得意→高3とても得意

なりたい職業

中1:劇団四季の音響
中2:—
中3:舞台の裏方が音楽関係の仕事
高1:—
高2:—
高3:演劇関係なら何でも…!!

なりたい職業

中1:医師
中2:医師
中3:—
高1:—
高2:医師
高3:—

なりたい職業

中1:服をデザインするファッションデザイナー
中2:助産師
中3:助産師・看護師
高1:助産師、NICUの看護師、救急救命で働く看護師になりたいです。
高2:助産師になりたい。
高3:助産師として妊娠をサポートしたいです。

6-2 英語ができたらやってみたいこと (自由記述) ②

Dさん

Eさん

Fさん

中1

外国人とたくさん話せるような仕事につきたい。英語だけで書いてある新聞や、雑誌を読みたい。(映画やテレビも)

歌の歌詞をかいてみたい。

サッカー選手になってかいけんで英語を使ってしゃべりたい。

中3

外国人と会話をしてみたい。外国の映画を字幕なしで見てみたい。

人の助けを借りずに海外旅行をしたい。

かいけいでサッカーをプレーしたい

高1

外国に1人で行って、現地の人と話してみたい。外国の映画を、字幕なしで見てみたい。

中学校で英語を教えたい

—

高3

海外旅行(一人旅)。

英語教師になって、英語のおもしろさや楽しさを伝えたい。

海外で活やくしたい。

【経験】<高校生のとき>
修学旅行でシンガポールに行き、日本人以外が話す英語を実際に生で聞いたときに、衝撃をうけた。

【経験】<中学生のとき>
中学3年生の時に教わった英語の先生のおかげ(授業内容など)で自分は苦手だった英語を好きになれたし、英語教師になりたいという夢ができたこと。

【経験】<小学校に入学する前>
オーストラリアに行って英語に触れることができた

小6やや得意→中1やや得意→中3やや得意→高1やや得意→高3やや得意

小6やや得意→中1やや得意→中3やや得意→高1やや得意→高3やや得意

小6やや得意→中1とても苦手→中3とても苦手→高1とても苦手→高3とても苦手

なりたい職業

中1:—
中2:公務員(市役所など)
中3:地方公務員
高1:公務員(市役所など)
高2:公務員
高3:公務員、
もしくは国際関係の仕事

なりたい職業

中1:—
中2:テレビや舞台、
コンサートなどの演出の仕事
中3:コンサート、
舞台等の演出の仕事
高1:—
高2:—
高3:中学教師(英語)

なりたい職業

中1:—
中2:サッカー選手
中3:サッカー選手
高1:サッカー選手
高2:サッカー選手
高3:—

ダイジェスト版

高3生の英語学習に関する調査

〈 2015-2021 継続調査 〉

【調査企画・分析メンバー】

根岸雅史（東京外国語大学大学院教授）

酒井英樹（信州大学教授）

高木亜希子（青山学院大学教授）

長沼君主（東海大学教授）

工藤洋路（玉川大学教授）

金子真理子（東京学芸大学教授）

重松靖（元国分寺市立第二中学校校長）

津久井貴之（大妻中学高等学校教諭）

加藤由美子（ベネッセ教育総合研究所言語教育研究室室長）

森下みゆき（ベネッセ教育総合研究所言語教育研究室主任研究員）

福本優美子（ベネッセ教育総合研究所言語教育研究室研究員）

※所属・肩書きは2022年3月時点のものです。

ベネッセ教育総合研究所 Webサイトのご案内

ベネッセ教育総合研究所 🔍

<https://berd.benesse.jp>

ダイジェスト版「高3生の英語学習に関する調査」〈2015-2021継続調査〉

2022年3月25日 発行

発行人：谷山和成 編集人：加藤由美子

発行所：(株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所

編集協力：合同会社G&Pアソシエーション

©Benesse Educational Research and Development Institute

無断転載を禁じます。

